２０２４年３月２３日から２５日にかけて、国際・国内指導者合宿が開催されました。武州北支部からは、黒岩支部長と私栗原の２名で参加しました。

　年始に開催される鏡開きと同様、黒帯にならなければ参加できない行事ということで、期待に胸を膨らませて参加してきました。

　海外からも、アメリカをはじめインドやホンジュラスなど各国から多くの参加があり、総勢70名が、盧山会長、岡崎館長、湖山国際本部長や技術委員の先生方からの指導を受けました。

　指導者のための合宿ということで、稽古の内容は基本や対極、平安の型について、生徒への指導のための解説や、審判の講習、意拳の指導や決勝型のグループ分けでの指導など盛りだくさんのものでした。

　やはり盧山会長からのご指導は特別なものでしたし、岡崎館長の解説の際の動きや、湖山本部長の経験談など、合宿の参加者にしか得られない経験をすることができました。

　これまで審判の経験は一度もなかったため、審判講習は大変勉強になりましたし、特に組手の主審の考えることの多さや責任の重さを知ることが出来ました。

　稽古以外でも、宿泊場所である温泉旅館での宴会や、同室となった支部長の先生方の鍛え抜かれた拳や空手への情熱、経験談、支部長としての思いに触れたこと、温泉で盧山会長とご一緒させていただいたことなど、書ききれないほどたくさんの刺激的な体験ができました。

　稽古中や食事中に何度も会長がおっしゃっていた、「我々はファミリーです」という言葉を胸に刻んで、極真館という家を守り発展させていく一員としての役割を果たしていきたいと、思いを新たにしました。

　最後になりましたが、ご引率いただいた黒岩支部長、３日間に渡りご指導いただいた盧山会長、岡崎館長、湖山国際本部長、海外勢への通訳や指導にご尽力いただいたライゴ師範、技術委員の先生方、同室でお世話になった伊熊師範、吉田支部長、共に稽古に臨んだ黒帯の皆さん、１３年振りの開催に奔走いただいた総本部事務局の皆さん、旅館のスタッフの皆様に深くお礼を申し上げます。

武州北支部一般部　栗原